



【編集】
富山国際大学
現代社会学部

富山国際大学 東黒牧ニュース

Toyama University of International Studies

東大での学生シンポジウムにて研究報告をしました



平成 24 年 11 月 10 日に、斎藤ゼミではゼミ活動の一環として、「第 4 回全国エコツーリズム学生シンポジウム」に参加してきました。東京大学本郷キャンパスで行われ、全国から多くの大学の学生が集まり開催されました。私達はポスターセッションの形で研究発表を行いました。研究内容として、近年の観光需要についてのニーズが大きく変化したことにより、マスツーリズムから多様な形態への移行が進んでいること

を取り上げました。単なる観光だけでなく、地域の情報や住民との交流が従来に比べ求められるようになったことが背景にあります。そこで自分たちの住む富山県のボランティアガイドを例としてあげ、アンケート調査をもとにガイド活動の実態および方向性について考察しました。

2014 年度には北陸新幹線が開通することで、富山県の観光客の増加も見込まれております。このような変化をふまえて、①観光ボランティアガイドのあり方、②ガイドが富山県の観光についてどのような影響をもたらすか、③インタープリテーション導入の可能性についての検討について考察しました。ポスターセッションでは来場者から質問を受け、これをもとに議論を交わし検討を進めることができました。

その後学生による研究発表、ワークショップや交流会に参加しました。他大学の学生はとても積極的で何事に関しても意欲的でした。交流し意見を交換する中でとても刺激を受け啓発されました。これらは貴重な体験と思われまので、今後の就職活動に活かしていきたいと思えます。

(斎藤ゼミ：朝倉理恵、宇津美咲、大久保彩華、櫻井美月、田中美智、森本朱音、何一風)

(文：宇津美咲 写真：斎藤敏子)

